

ことばのう  
言葉と脳のかかわりを研究  
けんきゅう  
酒井邦嘉さん



「子どもの脳には奇跡のような力がある」と話す  
酒井邦嘉さん=東京都目黒区の東京大学で

さかい・くによし 1964年、東京生まれ。東京大学院博士課程修了。現在、同大大学院総合文化研究科准教授。著書に、『言語の脳科学—脳はどのようにことばを生みますか』(中公新書、第56回毎日出版文化賞受賞)、『脳の言語地図』(明治書院)などがある。

# 学ぶ育つはばたく

人間が使う言葉のしくみと脳のかかわりを研究している東京大学准教授の酒井邦嘉さんが先月、「ことばの冒険」(明治書院)を出版しました。子どもの脳には大人からみて奇跡のような力があると酒井さんは話します。子どもと大人の脳のちがい、子どもの力を伸ばすためにどんな教育が必要かなどを聞きました。

## 大人よりずっと多い吸収力

— 子ども向けに絵本をかこうと思つたきっかけは?

子どもの「知りたい」という意欲はすごいなあと感じたことがきっかけです。小学生に向けて脳の話をし

たとき、一年生の男の子から「どうして人だけ言葉を使えるの?」という質問を受けました。ぼくは、脳からみて、人間が言葉を使うしくみを研究しているの

子どもには、大人からみれば奇跡のような力が備わっています。その秘密は、脳にあります。感性が豊かな子どもたちに向けて脳科

学を紹介したいと思い、絵本では、人間が

木を使つてくみを「ことばの木」=左の絵参照とい

うたとで説明しています。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ

の言葉のつなぎはおかし

い」と気づきます。「あし

た」という未来の言葉の枝

が生えると、同じ幹からは

「行つた」という過去の言葉の枝は生えません。そう

いつたくみを、無意識のうちに習得しています。

これは、言葉だけでなく、

動物園に行つた」という文

ね。

人間は言葉を使うとき、

自然と過去と未来などを

分けて話します。「あした、

本を友だちに世界を広げて

— あるべき教育の姿は?

子どもたちは「人にま

でやればいい」というのが

教育だと思つてほしくありません。

たとえば円周率が三・一

四一五……とかぎりなく続

いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけ

では、算数の本当のおもしろさは味えません。「無理数」といつて、小数点以下が無限に続く数字があること、次にくる数字は〇九しかないので決して規則

— 「木」を伸ばすため

に、子どものうわじしてお

ぐべきいとは?

まず、何か好きなことを

見つけたら、気が済むまで

じとんやってみると

きていると考えられます。

— 本にするのを決めました。

— 子どもと大人で、脳に

にちがいはあるのですか?

脳が示す吸収力では、大人

もずっと強いやように思いま

す。

— たとえば、子どものとき

に接した母国語は自然と覚

えることができますよね。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ

の言葉のつなぎはおかし

い」と気づきます。「あし

た」という未来の言葉の枝

が生えると、同じ幹からは

「行つた」という過去の言葉の枝は生えません。そう

いつたくみを、無意識のうちに習得しています。

これは、言葉だけでなく、

動物園に行つた」という文

ね。

人間は言葉を使うとき、

自然と過去と未来などを

分けて話します。「あした、

本を友だちに世界を広げて

— あるべき教育の姿は?

子どもたちは「人にま

でやればいい」というのが

教育だと思つてほしくありません。

たとえば円周率が三・一

四一五……とかぎりなく続

いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけ

では、算数の本当のおもしろ

さは味えません。「無

理数」といつて、小数点以

下が無限に続く数字がある

こと、次にくる数字は〇九

しかないので決して規則

— 「木」を伸ばすため

に、子どものうわじしてお

ぐべきいとは?

まず、何か好きなことを

見つけたら、気が済むまで

じとんやってみると

きていると考えられます。

— 本にするのを決めました。

— 子どもと大人で、脳に

にちがいはあるのですか?

脳が示す吸収力では、大人

もずっと強いやように思いま

す。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ

の言葉のつなぎはおかし

い」と気づきます。「あし

た」という未来の言葉の枝

が生えると、同じ幹からは

「行つた」という過去の言葉の枝は生えません。そう

いつたくみを、無意識のうちに習得しています。

これは、言葉だけでなく、

動物園に行つた」という文

ね。

人間は言葉を使うとき、

自然と過去と未来などを

分けて話します。「あした、

本を友だちに世界を広げて

— あるべき教育の姿は?

子どもたちは「人にま

でやればいい」というのが

教育だと思つてほしくありません。

たとえば円周率が三・一

四一五……とかぎりなく続

いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけ

では、算数の本当のおもしろ

さは味えません。「無

理数」といつて、小数点以

下が無限に続く数字がある

こと、次にくる数字は〇九

しかないので決して規則

— 「木」を伸ばすため

に、子どものうわじしてお

ぐべきいとは?

まず、何か好きなことを

見つけたら、気が済むまで

じとんやってみると

きていると考えられます。

— 本にするのを決めました。

— 子どもと大人で、脳に

にちがいはあるのですか?

脳が示す吸収力では、大人

もずっと強いやように思いま

す。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ

の言葉のつなぎはおかし

い」と気づきます。「あし

た」という未来の言葉の枝

が生えると、同じ幹からは

「行つた」という過去の言葉の枝は生えません。そう

いつたくみを、無意識のうちに習得しています。

これは、言葉だけでなく、

動物園に行つた」という文

ね。

人間は言葉を使うとき、

自然と過去と未来などを

分けて話します。「あした、

本を友だちに世界を広げて

— あるべき教育の姿は?

子どもたちは「人にま

でやればいい」というのが

教育だと思つてほしくありません。

たとえば円周率が三・一

四一五……とかぎりなく続

いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけ

では、算数の本当のおもしろ

さは味えません。「無

理数」といつて、小数点以

下が無限に続く数字がある

こと、次にくる数字は〇九

しかないので決して規則

— 「木」を伸ばすため

に、子どものうわじしてお

ぐべきいとは?

まず、何か好きなことを

見つけたら、気が済むまで

じとんやってみると

きていると考えられます。

— 本にするのを決めました。

— 子どもと大人で、脳に

にちがいはあるのですか?

脳が示す吸収力では、大人

もずっと強いやように思いま

す。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ

の言葉のつなぎはおかし

い」と気づきます。「あし

た」という未来の言葉の枝

が生えると、同じ幹からは

「行つた」という過去の言葉の枝は生えません。そう

いつたくみを、無意識のうちに習得しています。

これは、言葉だけでなく、

動物園に行つた」という文

ね。

人間は言葉を使うとき、

自然と過去と未来などを

分けて話します。「あした、

本を友だちに世界を広げて

— あるべき教育の姿は?

子どもたちは「人にま

でやればいい」というのが

教育だと思つてほしくありません。

たとえば円周率が三・一

四一五……とかぎりなく続

いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけ

では、算数の本当のおもしろ

さは味えません。「無

理数」といつて、小数点以

下が無限に続く数字がある

こと、次にくる数字は〇九

しかないので決して規則

— 「木」を伸ばすため

に、子どものうわじしてお

ぐべきいとは?

まず、何か好きなことを

見つけたら、気が済むまで

じとんやってみると

きていると考えられます。

— 本にするのを決めました。

— 子どもと大人で、脳に

にちがいはあるのですか?

脳が示す吸収力では、大人

もずっと強いやように思いま

す。

— 絵本では、人間が

木があるからこそ、「そ</p